

ヒトとブンカをつなぐ情報誌

HCF news

HAMAMATSU
CULTURAL FOUNDATION

VOL. **21**
2016
Summer

特集1 歌舞伎役者 **市川染五郎**インタビュー

特集2 東京バレエ団 芸術監督 **斎藤友佳理**インタビュー



公益財団法人
浜松市文化振興財団
Hamamatsu Cultural Foundation

はじまりはいつも、
ヒトツの感動から。

文化は人と人をつなぐものだとよく言われる。

確かに、文化を持つことで人の交流が盛んになることはあるし、
人の交流から新たな文化が生まれることも少なくない。

さらに、文化は過ぎ去った時を結び、交わる事の出来ない人と
交わることができ、世代を超えて未来へとつないでいくこと
ができる。

先代が培ってきた偉大な技を、丁寧になぞることによって文化
を継承したり、子どもたちにわかりやすく文化を伝え続ける
ことで未来の担い手を育んだり。

人をつなぎながら、時をまたいで演じられる素晴らしい文化
に出逢う時、人は悠久の流れを感じ、心に響く何かを見つける
ことができる。

私たち浜松市文化振興財団は、これからも人と時と文化を
つなぎ、心にはたらきかける文化をお伝えしていきます。
すべてのはじまりは、そう、ヒトツの感動から。

公益財団法人
浜松市文化振興財団
Hamamatsu Cultural Foundation

今月の表紙



浜松学芸高等学校
芸術科美術課程3年
西尾美帆子

毛で瞳はほとんど見えませんが、この
犬の魅力である聡明さや明朗な性格
を表現できるよう試みました。

04		[特集1] 歌舞伎役者 市川染五郎インタビュー
08		[特集2] 東京バレエ団 芸術監督 斎藤友佳理インタビュー
12		[こだわりの食とともにコンサートの余韻を楽しむ] 彩席 かわかみ 鉄板焼 あつみ
14		[ちょっと気楽に、もっと音楽を] 浜松珈楽庵 (はまつからくあん)
18		[コンサートにお出掛け、その前に...] ヤマハミュージックリテイリング浜松店
20		[楽器職人のいる街vol.4] マンダリンエレクトロン 竹内正実さん
22		[のんびり、ゆっくり、みゅーじあむvol.11] 10年ぶり、映像音響機器の増設
24		オークラアクティシティホテル浜松 ホテルクラウンパレス浜松
26		HCF Event Schedule
31		[お知らせ] 文化活動へのご寄附のお願い ～大切なお気持ちを確かなカタチにてお届けします～

市川染五郎

歌舞伎役者

インタビュー



4月11日 歌舞伎座にて 文・撮影／(公財)浜松市文化振興財団 取材協力／松竹株式会社

平成28年度の全国公文協主催「松竹大歌舞伎」。初の座頭公演となる市川染五郎さん（ざがしら）に今回の見どころや歌舞伎にける思いなどについて、お話を伺いました。

■10年前、アクトシティでお父様の松本幸四郎さんと「勸進帳」で共演していただきました。当時の浜松公演の思い出はありますか？

駅からつながっている…あのドーンとした建物ですよね？確か…普段はあまりしないのですが、巡業中盤の会場だったので、終演後、隣接するホテルの

宴会場で「お疲れさまの会」をやりました。役者やスタッフにお弁当を出すとか、誰かを誘ってご飯を食べに行くより「みんなに『お疲れさま』をしたいから」と、父の考えで特別にそのようなことをした記憶があります。

■今回の見どころを教えてください。

「^{さらしさんぼそ}晒三番叟」は、古典のきっちりとした踊りで、華やかさや賑やかさを感じていただきたいと思います。「松浦の太鼓」は、曾祖父の初代吉右衛門が作り上げた作品の一つで、それを叔父・二代目吉右衛門が受け継いで上演されてきました。今回は大高源吾役を歌昇くんが演じますが、叔父のときには私が勤めた縁のある演目です。松浦鎮信は憧れの役でもありましたので、それを演じられるのは大変楽しみです。最後の舞踊「^{あわもち}粟餅」は、常磐津という浄瑠璃、語り物といわれ、「晒三番叟」とは全くジャンルの違うもので、楽しい踊りの雰囲気と音楽を聴いていただきました。

■10年前と現在とで「歌舞伎に対する思い」に変化はありますか？

座頭として初めて巡業するという責任を強く感じています。10年前に「勸進帳」で来たときは父が舞台の初めにスーツ姿でご挨拶をしました。前日に次の公演地の情報を集めて、どんなことを話すのか考えるのですが、自分も父と同じようにできればと思いご挨拶することにしました。いよいよ自分がこの責任ある立場に立つのだという思いです。

■全国様々な公演地を周りますが、地方巡業ならではの楽しみは何ですか？

なかなか時間的な余裕がないのですが、そのように旅することは巡業でないとできないことですから、いつもと違う土地に触れるということが一つの楽しみですね。毎日の荷造りは大変ですが、移動時間をどう楽しむか考えることも巡業ならではの楽しみです。

■5月のラスベガス公演、6月の大歌舞伎やシネマ歌舞伎（中村勘九郎・七之助さん共演）の上映、そして7月の地方巡業、と大変忙しいスケジュールですね。それぞれの公演に思いはありますか？

古典の歌舞伎は祖父、父がやってきたもの、今回の演目も曾祖父が作り上げたものです。そのように受け継がれて上演し続ける作品がすごいと思う反面、それを今ゼ口からつくってみたいという創作歌舞伎への思いも生まれてきます。いろいろな歌舞伎に挑戦できる場をいただいて本当にありがたいですね。舞台に立つ分量は5～10年前のほうが多かったのですが、ここ何年かが急激に忙しいわけではありませんが、重要な役を多くいただくようになりました。だからこそ、信頼される役者になりたいと思います。「面白いことをやるな」「何か見せてくれるのだな」と安心して観ていただけるよう、結果を出し続けなければいけないと思っています。

海外の方に歌舞伎をお見せするのなら、本当は日本の歌舞伎専用劇場で見ていただくのが最高の「おもてなし」なのですが、逆に行くのなら、そこでしかできない歌舞伎を作ってみたかった。昨年のラスベガス公演は、まさにそのチャンスでしたので、そもそも歌舞伎とは何が魅力なのか、何が独特なのかというこ





とを強く考えました。女形・白塗り・隈取って独特でしょ。色彩や見得、様式的なことそうですね。海外への発信とは、それらを徹底的に学びなおして「堂々とお見せする」ことだと考えました。歌舞伎って純粋にすごいものだと思いますから「すごいんだぞ、日本は！」と堂々とアピールすればいい。これは、歌舞伎に限らず言えることだと思いますね。

■新しいものへ挑戦するエネルギーの原動力は何でしょうか？

「信じる」ということしかないですね、歌舞伎はすごいと。そして、「できるはずだ」と演じる自分を信じる。それしかないですね。

どんなジャンルにも通用することを証明したい

■歌舞伎とは違う、映画・テレビなど映像の世界ではどのように気持ちを切り替えるのですか？

テレビや映画に出るときは映像の世界の俳優として、歌舞伎役者を忘れることですね。選挙活動ではないですから、歌舞伎を知ってもらうためにテレビドラマなどに出ることはしません。結果として「歌舞

伎俳優なんだ、この人」と思われることはいいですけど、最初から歌舞伎のことを意識して演じることはないです。もちろん、芝居の勉強は歌舞伎です。ですから、どんなジャンルにも通用することを証明したいと思っています。映像の役者として出るときは「舞台を見に行かなくてもテレビの方が面白い」と思われる側に立ちますし、歌舞伎役者のときは「テレビより、お芝居はやっぱり生で見るものでしょ」と逆の立場になります。ドラマやお芝居それぞれに魅力を感じて出演しているわけですから、そこは切り替えています。

■浜松には「浦川歌舞伎（北区佐久間町）」や「横尾歌舞伎（北区引佐町）」などの農村歌舞伎が今も残っています。地域で継承される歌舞伎についてどう思われますか？

僕自身はなかなか触れる機会がないのですが、地域で歌舞伎に触れてもらうのはとても嬉しいことです。長野県の大鹿歌舞伎や山形県の黒森歌舞伎なども有名ですね。

「今度『太功記』をやるけれど、どういう気持ちで演じるのか教えてください」と大鹿歌舞伎を継承する小学6年生から手紙が届いたりしました。



何も考えず自由に「何かを探しに」来てもらいたい

■浜松は首都圏に比べて若い世代のお客様が少ないのですが、より多くの方に歌舞伎を楽しんでもらうには？

まずは会場に足を運んでいただかなくてはいけません。「何かを探しに」来てもらいたいと思います。来てもらえれば、何か持って帰ってもらえるものをお見せしますから。「こういうところを見て」とは一切言わず、自分から「探してみてください」といいたい。女形に興味がわくかもしれない、道具や色彩に目がいくかもしれない、歌舞伎特有の「音」や音楽、もちろんドラマの展開に惹かれるかもしれません。歌舞伎は男性のみが演じますから、いい男を探しに来ていただいても(笑)。何か心にひっかかるものを見つけに来てほしいですね。

■これからの歌舞伎界は染五郎さん世代の方々が背負って立つ時代。先輩方から受け継いだ伝統をどのように守っていきたいですか？

演劇として「歌舞伎」が存在し続けることが一番大事なことです。歴史がある芸能ですけれど、今も生きているものなので、僕たちは「昔の人がこんな演劇を作りました」と紹介する立場ではなく、「今現在も生きている」歌舞伎を演じる役者として、存在し続けたい。それに触れていただく、知っていただくには、まだまだやり方があると思うので、広く普及するという意味でもこの巡業があると思っています。

■浜松のファンに向けて一言メッセージをお願いします。

何年かに一度しか行けないのですが、その一日を

大事に、歌舞伎の魅力に触れていただけるような舞台をお見せしますので、ぜひ多くの方に来ていただきたいと思っています。

市川染五郎 いちかわ そめごろう 七代目 高麗屋

昭和48年1月8日生まれ。松本幸四郎の長男。54年3月歌舞伎座『侠客春雨傘』で三代目松本金太郎を名のり初舞台。56年10・11月歌舞伎座『仮名手本忠臣蔵 七段目』大星力弥ほかで七代目市川染五郎を襲名。平成6年4月歌舞伎座『双蝶々曲輪日記 角力場』の放駒長吉、『一谷嫩軍記 熊谷陣屋』の堤軍次ほかで名題昇進。新作歌舞伎『歌舞伎 NEXT 阿豆流為』の阿豆流為(アテルイ)、『Wonder KABUKI Spectacle at MGM Grand - 獅子王SHI-SHI-O-』(ラスベガス公演)をはじめ、演劇、テレビ、映画、執筆など幅広く活躍している。



4月14日 製作発表にて

松竹大歌舞伎

平成28年7月17日(日) 昼の部13:00/夜の部17:30

- アクシシティ浜松 大ホール
- 一等席 6,500円 二等席 5,500円
- 夜の部 幕見席 2,000円(当日指定)
- 学生 1,500円(当日指定・24歳以下・当日学生証提示)
- ※未就学児の入場不可
- ※着物でご観劇の方特典あり(夜の部)

●演目:

『ご挨拶』『晒三番叟』
『秀山十種の内 松浦の太鼓』『粟餅』

●お問合せ:文化事業課 TEL.053-451-1114

齋藤友佳理 *Yukari Saito* インタビュー

8月1日(月)、アクトシティ浜松大ホールで行われる「子どものためのバレエ〜ドン・キホーテの夢〜」。東京バレエ団芸術監督の齋藤友佳理さんに、公演の見どころやご自身のダンサー人生などについてお聞きしました。



■今回の演目「子どものためのバレエ〜ドン・キホーテの夢〜」の見どころを教えてください。

バレエの「ドン・キホーテ」は小説とはちょっと違いますが、タイトルロールのドン・キホーテやサンチョ・パンサなどおなじみの登場人物が出てくるのは同じです。東京バレエ団では、今世紀一番のバレエダンサーと名高いウラジーミル・ワシーリエフ演出・振付で新しい「ドン・キホーテ」を製作しました。今回の「子どものためのバレエ〜ドン・キホーテの夢〜」は、それをさらにわかりやすく1時間30分に凝縮させたものです。3年前の「子どものためのバレエ〜ねむれる森の美女〜」(浜松でも上演)が好評だったこともあり、次の演目は、物語がおもしろくてユーモアたっぷりの「ドン・キホーテ」にしよう、と

アイデアをたくさん出し合いました。途中でロシナンテ(馬)が登場したり、サンチョ・パンサ(従者)がお話したりと、楽しい演出がたくさん詰まった作品になっています。

■子どもたちにはどんな気持ちで見たいですか？

バレエは言葉のない世界。一方で、体の中から湧き上がる思いを表現できる世界共通の言語ともいえます。フィギュアスケートや器械体操などスポーツには、最高点・最低点があるけれど、芸術はあくまでも見ている側の捉え方次第。感じ方はみんなそれぞれ違って良いのです。舞台と客席に壁を作らず、子どもたちと舞台を一体にしたいという願いを込めて、舞台上から客席にダンサーたちが出ていく場面も作りました。バレエをやっている子も、はじめて見る子も、ありのままを自由に感じてもらえると嬉しいです。



■昨年8月、東京バレエ団の芸術監督に就任されました。具体的にはどんなお仕事ですか？

何から何まで(笑)。とにかく大変な仕事です。約80人のダンサーの団員としてのあり方から始まり、配役や年間スケジュール、レパートリーの選択、



過去のリハーサル風景より 撮影：細野晋司





過去のリハーサル風景より 撮影：引地信彦



作品の指導。ダンサーの健康管理も毎日欠かせませんし、個人が抱える問題を解決することも大事です。衣装のデザインやオーケストラ、舞台装置のことはなかなか思い通りにいかないこともあります。他にも、音楽のテンポやプログラム原稿のことなど、数え上げたらキリがないですね。改めて考えると仕事の多さにびっくりします。やりすぎじゃないかしら(笑)。今思えば、ダンサーの時は「なんてハッピーだったんだろう」と思います。自分の身体だけを考えていれば良かったのですから。もちろん、全幕の主役を踊る時には周りとの調和、パートナーとのことに神経を使っていたけれど、どれも自分のこと。今は、自分以外の団員に関わる全体を把握していなければなりません。

■バレエダンサーは優雅で美しいもの。

美しくみせる技術はどのように伝えられていくのでしょうか？

バレエは人から人へ伝わる伝承芸術です。例えば、音楽なら楽譜がありますが、バレエはそういうもの

がないのです。「舞踊譜」として音楽のタイミングや振付を細かく書いたものがありますが、「伝承学」を勉強した人しか読めないし書けないものです。私が書いた「舞踊譜」も、いつか誰かに伝えていくつもりですが、誰もが読めるわけではありません。今はDVDなど映像記録があって昔よりずっと恵まれています。それは危険なことでもあります。録画されればそれが「正しいもの」として後世に残ってしまうからです。舞台芸術は毎回が一期一会で、同じ配役、同じ音楽や照明はあったとしても、同じ観客ということは決してありません。だから、本番の舞台も決して同じにはならないのです。指導者が作品をきちんと把握していないと時間とともに作品のニュアンスや細かい部分が変わってきてしまう。そうならないよう、きちんと伝えていかなくてはならないと思っています。

■以前は、一人のダンサーとしてお子さんを育てながら舞台に立つのは大変だったでしょうね。

本当に！大変でした(笑)。しかも、同時にバレエ教師の勉強もしていましたから「良い母親」ではなかったと思います。大怪我をして舞台に出られず、手術・リハビリと辛い時期、当時3歳の息子が私の足代わりになってくれて、貴重な時間を一緒に過ごしました。復帰後も、(日本での公演のため)ロシアから日本へ帰るときなど、どんなに淋しくても「踊りに行きなよ」と送り出してくれました。「あれだけ苦勞して復帰したのだから踊ってほしい。その方が僕も嬉しいから」と。私のほうが息子に支えられてきたと思います。



■公演中に大怪我をされ、2年後に復帰されました。人生観はどう変わりましたか？

今は、ただ怪我に感謝です。怪我がなければ息子と一緒に過ごせなかったし、一緒に壁を乗り越えたからこそ、思いやりのある子に成長してくれたと思っています。彼に気づかされることは私の人生で本当に多いですね。そのとき起きたことが不幸に思えても、時間がたつとなぜそのことが起こったのかという理由が見えてくる。人生はすべてのことに意味があるのだな、と今でも驚かされます。

■第一線で続けてこられたのは、やはり「バレエが大好き」という思いからでしょうか？

どちらかという、バレエが好きというよりも、心の奥から湧き出る、心をわしづかみにされるような何とも言えない胸の熱い思いを表現したい、ということでしょうね。たまたま、私は「バレエ」でしたが、もしかしたら、音楽やピアノ、演劇など、何か別の方法で表現する人になっていたかもしれません。

■バレエ以外のご趣味はありますか？

ロシアの人は都会のアパートに住んで、休日には

郊外の別荘に行くのですが、そこでキノコ採りをするのが大好きですね。その時期が近づくワクワクします。春には野イチゴも採れますよ。

でも、最近は忙しくてとても時間がありません(笑)。今は、普通の家事(掃除や洗濯)をすることがリラックスできる時間です。

■浜松のお客様へメッセージを。

バレエって気軽に観に行きにくいと思う方もあると思いますけれど、今回の作品はとても分かりやすく楽しいお話です。言葉のない表現だからこそ、自由に感じてみてください。

子供たちにとって一生の出会いになると思います。



©長谷川清徳

齋藤 友佳理 さいとう ゆかり
横浜出身。6歳より母のもとでバレエを始める。15歳でロシアへ短期留学。1987年 東京バレエ団にプリンシパルとして入団。幅広いレパートリーで主役を務め、国内外で高い評価を獲得。代表作は「ラ・シルフィード」「ドン・キホーテ」。2009年 ロシア国立モスクワ舞踊大学バレエマスター及び教師科を卒業。2010年「オネーギン」で絶賛を博し、紫綬褒章ほか数々の賞を受賞。2015年 東京バレエ団芸術監督に就任。

東京バレエ団 **子どものためのバレエ**

ドン・キホーテの夢

2016 **8/1** (月)
15:00開演(14:15開場)
アクトシティ浜松 大ホール

■演奏は特別録音による音源を使用します。
■上演時間:約90分(休憩1回を含む)

入場料(全席指定/税込)
S席 大人 4,000円 子ども 1,500円
A席 大人 3,000円 子ども 1,000円

演出・振付:ウラジーミル・ワシーリエフ
音楽:レオン・ミンクスほか
振付指導:ウラジーミル・ワシーリエフ、齋藤友佳理

※子ども料金は4歳から中学生までのお子さまが対象です。
※4歳未満のお子さまの入場はご遠慮ください。また、膝上での鑑賞はご遠慮ください。
●お問合せ:文化事業課 TEL.053-451-1114

イラスト:Satoru Makimura



浜松夏野菜と鱧のスープ仕立て ¥2,450 (税抜)。地元舞阪の鱧を使った京料理です。



峯野牛のサーロインステーキ (150g) は ¥3,400 (税抜)。

彩席 かわかみ

鱧(はも)は京都の夏を代表する味の一つ。そんな京料理を浜松に居ながらにして味わえるのがここ「彩席 かわかみ」。その日仕入れたおすすめ食材を使って、お客様と対話しながら調理方法を決める、京都スタイルのカウンター割烹のお店です。海も山も川もある浜松は、食材の宝庫。店主の川上さんは10年間の京都での修行経験を活かし、「地元食材で京料理を」との想いから、1年前にこのお店をオープンされました。毎日のように変わる手書きのお品書きからは、『地魚、地野菜を使った京料理』に対する、店主のこだわりが伝わってきます。鱧は5月頃がはしりで、旬は9月とのこと。冬には地元でとれたふぐやすっぽんが登場します。素材の旨味を活かした『出汁』作りを特に大切にしていっしょるそうです。豊富に揃えられた日本酒選びに迷ったら、是非おすすめを聞いてみて。料理に合った、とびきりの日本酒を教えてくださいませ。



和食の魅力を伝える地域の活動にも積極的に参加されており、和食文化や食育の大切さを、多くの人々、特に子どもたちに伝えていきたいそう。「地の物って、和食ってやっぱりいいな」としみじみ実感できること間違いなしの落ち着いたお店で、地魚と日本酒をゆっくり味わってみてはいかがでしょうか？



店主の川上哲宏さん

料理人だったお父様の背中を見て、自然と料理の道に入られたという川上さん。和風の店内には、亡きお父様が営まれていた中国料理店『朝軒(さっけん)』ゆかりの品が。食への想いは、川上さんの息子さん、娘さんにも受け継がれているそう。「休みの日は、子どもと遊ぶのが何よりの楽しみです」と優しい笑顔で語ってくださいました。



彩席 かわかみ

浜松市中区着町318-16かわかみビル1F
TEL.053-452-3777
【営業時間】
ランチ 12:00 ~ (L.O.14:00)
※前日までに要予約
ディナー 17:30 ~ 23:00 (L.O.22:30)
【定休日】月曜日
(祝日の場合は営業、翌日休日)

鉄板焼 あつみ

2015年6月にオープンした「鉄板焼 あつみ」は、まもなく1周年。店主の渥美さんと奥様の二人三脚でお店を営んでいます。お店に一步足を踏み入れると、目に飛び込んでくるのは壁に飾られた大きな絵。渥美さんにお聞きすると、「もともとはうちに飾ってあったお気に入りです」とのこと。何でも絵を描いたり、ものを作ったりすることが得意な方が家族や親類に多いのだそう。そんな手作りの作品や雰囲気ある家具などで彩られた店内は、女性も入りやすいおしゃれな空間です。



「自分のお店をもちたい」という目標に向け、仕事をしながら東京で親類が営む鉄板焼き屋さんで修業を積んだ渥美さん。開店から1年がたち、渥美さんが選び抜いたのは浜松・引佐のブランド牛「峯野牛」。目の前の鉄板で焼き上げる際には、迫力あるフランベ(香りづけのための調理法)がご覧いただけます。塩の味付けだけでも美味しいという峯野牛のステーキ。ワインをお供にいかがでしょうか。今後は鉄板を使ったデザートなど女性向けのメニューも開発していきたいとのこと。友人同士や家族連れ、さまざまなシーンで利用できる暖かな雰囲気のお店です。



店主の渥美三四郎さん

「口下手でシャイなので…」という渥美さんでしたが、取材ではいろいろなお話を伺うことが出来ました。若いころはロカビリが好きで、見よう見まねでダブルベースを弾いていたそう。やはり芸術のセンスは渥美さんにも受け継がれています。笑顔が素敵な奥様との雰囲気にとらさず、つついっ長居をしてみたいそうです。



鉄板焼 あつみ

浜松市中区千歳町90
TEL.053-413-2211
【営業時間】18:00 ~ 翌2:00
【定休日】日曜日・祝日

ちよつと気楽に もつと音楽を 01

「音楽をもつと気楽に楽しんでほしい、日々の生活に音楽を」というテーマで新企画が始まります。ホールへ行かなくても近場で気楽に音楽を楽しめる素敵な場所をご紹介します。



取材日 / 4月5日 文・撮影 / (公財) 浜松市文化振興財団

はままつ からくあん
浜松珈楽庵

**この人に
伺いました！**

かわいてつや
河合哲也さん



1952年生まれ。元魚町で育つ
1973年 専修大学卒業後、渡米
1976年 UCC上島珈琲入社
2003年 NPO法人日本スペシャルティコーヒー協会設立
(初代理事事務局長)
2008年 大洋珈琲(株) 代表取締役。現在に至る。

喫茶店でコンサートを 始めたきっかけ

もともとは父が創業したコーヒーの卸業です。同時に喫茶店も20店舗くらい経営していました。その時は路面店でなく、工場や学校・劇場の中での営業が多かったですね。色々な人と話すうち「直接お客様とコンタクトできる仕事は面白い」と気付きました。ダイレクトにお客様と対面し、コーヒーを飲んでもらい、すぐに反応がある。今は喫茶店自身が豆を産地から直接仕入れ、専門性を追求する時代。自家焙煎で、新鮮な豆をその場で焙き、挽き、淹れる。いわゆる「三たて(焙きたて、挽きたて、淹れたて)」と言われるものです。それまでのコモディティコーヒー(一般市場から相場商品として大量に買付けるコーヒー)ではなく、スペシャルティコーヒー(どこの農地の〇〇さんが作ったコーヒー豆と限定して買付けるコーヒー)が可能な時代になりました。アメリカで爆発的に発展したスターバックスなどもそうした流れからきていますね。そんな新しい流れに身をおいて「おいしいコーヒーを追究できるコーヒー店をやりたい」という軸の他に、もう一つの大きな軸である「お客様が交流できる空間を作りたい」が重なり『人と人が交流する』『喫茶店のあるべきスタイル』だと考えました。



まずは僕自身がつながって

たまたま、お店のお客様だった浜松ジャズ協会やバツハ研究会の方と知り合い、ここで演奏させてほしいという話になりました。その後、色々な人がつながって、今では「珈楽庵の夜会」というタイトルで毎週金曜日に公募やコーディネーターをお願いしたりしてクラシックやオペラ、ジャズ、シャンソン等それぞれテーマを決めて出演をお願いしています。他にも、浜松交響楽団員に月ごとに「月夜の音楽会」という企画で演奏していただいたり、様々な企画が現在進行中です。また、店内で飾られる絵画は浜松美術協会員の皆さまに個展の空間として自由に使っていただいています。他にも、浜松科学館の館長を囲んで「サイエンスカフェ」(科学について研究テーマを自由に発表討論する)をしたり、老若男女が集つ





4月8日「珈楽庵の夜会」 出演：大井梨江さん (Sop.)、河合聯美さん (Pf.)

て社会科学分野でディスカッションする「哲学カフェ」なんていうのもすごくおもしろかったですね。イベント当日は忙しいですから、私はあくまで脇役に徹します。でも、実は別の日にじっくり時間をもらって出演者・表現者と「交流」させてもらっているんです。私がお知り合いになれてこそ、来てくれたお客さんに彼らの魅力を伝えられるし、橋渡しもできますから。出演者と一緒で企画を考えたりして、次につなげられるのはすごく嬉しいですね。一期一会の場ではありますが、コーヒーを通じて様々な人と人が出会う交差点としての喫茶店はこれからますます地域の人たちに貢献できると僕は思っています。

「夜会」はレイアウトもいろいろ 終演後も続く自由な雑談こそが楽しい

コンサートはお店の中央にピアノを置いて両側からお客さまが鑑賞できる形にすることが多いですね。他にも色々なレイアウトができます。店内から見える庭の大きな松も昼と夜で違った雰囲気がありますよ。オペラ曲などでは、お客さんの周りを歩きながら歌うこともあります。夜会の後には自然に演奏者を囲んで自由な雑談が始まります。これぞ喫茶店でやるコンサートの良さで自負しています。ですから時間の許す限りお客様や出演者に自由に雑談して頂きたいと思っています。そこに価値があり、新しい文化のグルーブが始まると思っています。

夜会そのものに 興味を持っていただけたら

コンサートを聴きに来る方(予約制)は、近隣地域の方や出演者の知人などが中心で「夜会」そのものに興味を持っていただくのはまだこれから。喫茶店ならではの「夜会」に魅力を感じていただけるよう、試行錯誤しながら続けたいと思います。

異分野間の交流もしてみたい 「つながって・つながって」

NPO法人「積志かがやきカフェ」は地域の様々な経験を積まれた方々が集まってできた僕の活動の支えです。人と人が「つながって・つながって」を軸にいろんな活動をしています。この地域のオピニオンリーダーたちと喫茶店でワイワイガヤガヤして行って、ゆるくゆるく連帯して何かの形で社会に貢献していけたらいいなあ、と。東日本大震災の被災地(大船渡市)には桜の苗木を植えに行ったり、そこの中学の校長先生を浜松にお招きして自作の歌を歌っていただいたりして交流を続けています。喫茶店は「空間の切り売り」業ではなく、様々な人の「交流」によって空間に「価値」が生まれる。この「価値」を限りなく増大させてゆくことを考えています。



まだ来たことのない方へ

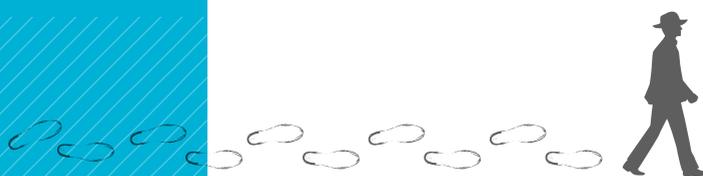
実は、僕自身がいま一番楽しんでいると思います。お客様、そしてそれぞれ個性的な演奏者・表現者の皆さんと、音楽や絵画等をととして「交流」できて、おいしいコーヒーを飲みながらつながって広がっていくという感じ。いつも感謝の気持ちを忘れずにその恩返しをしたいと思っています。「夜会」という試みに少しでも興味をもってくださった方は、ぜひ気軽に参加してみてください。



日替わりのスペシャルティコーヒー 600円(税抜)



浜松珈楽庵
〒431-3121
静岡県浜松市東区有玉北町1229
TEL.053-543-9070
平日 8:00 ~ 21:00
土日祝 8:00 ~ 21:00 (定休日なし)
[HP]
<https://www.facebook.com/hamamatsukarakuan>



[浜松国際管楽器アカデミー]

年に一度、ここ浜松では管楽器にスポットを当てた「浜松国際管楽器アカデミー」が8月に開催されます。世界の一流アーティストによるマン・ツウ・マンのハイレベルなレッスンだけでなく、「講師選抜受講生プレミアムコンサート」、さらに成績優秀者には、多数コンサート出演の機会が待っています。

このアカデミーは受講生だけではなく、一般にも開かれており、教授陣によるオープニングコンサート、受講生プレミアムコンサートも楽しむことができます。

オープニングコンサートでは、世界中で活躍している教授陣が一同に浜松に集結し、一流の演奏を間近で楽しむことができるのが大きな魅力となっています。プレミアムコンサートも、若き演奏家たちの登竜門というべく、大変レベルの高い演奏を堪能することができます。何度かレッスンの様子などを見学させて頂きましたが、受講生の熱い演奏、教授陣の熱心な指導が合わさり、大変熱気を帯びています。聴講しているこちらも、受講生になった感覚になり、思わず体が動いてしまうほどです。

個人的な思い出としまして、昨年イベントの一環として開催されたプラスジャンボリーは本当に感動的でした。8月の熱気漂う中、教授陣、受講生、一般愛好家が一つになって何曲か演奏をしました。私もその一員として参加しましたが、ひとりひとりが気候に負けないほどの熱い演奏をしており、教授陣、受講生のレベルの高い演奏に混在することで、自分が上手くなった気分を味わうことができ、非常に勉強になりました。

既に、累計2,800名の修了者が世界を羽ばたいているとの話に、同期の話が思い出されます。もう10数年前に、同期がこのアカデミーを受講していましたが、その彼女は現在、雑誌にも掲載されるほどの活躍をしており、嬉しい限りです。今年も、数多くの受講者が浜松に集結することとなりますが、ここからまた世界に大きく羽ばたいていくことを期待したいです。

[1F 管楽器・ギター・ドラム売場] 山本 奈穂



ヤマハミュージックリテイリング 浜松店

10時30分～19時 [定休日] 水曜日
〒430-0933 静岡県浜松市中区鍛冶町321-6
[1F 管楽器・ギター・ドラム売場] TEL.053-454-4077
[2F 楽譜・CD売場] TEL.053-454-4419

店員さんに聞きました！ おすすめCDのご紹介



マイ・ファースト・バレエ・
アルバム
8.578205 ¥1,296 (税込)



ミンクス/
バレエ音楽「ドン・キホーテ」
8.557065-6 ¥2,592 (税込)

バレエの音楽と言えば、ロシアの作曲家チャイコフスキーがとて有名ですが、バレエそのものの歴史を遡ると、発祥はイタリアとも言われています。由来までたどると古代ギリシャの無言劇まで辿り着くようですが、一般的には中世イタリアの貴族たちの舞踏会や結婚式などの宴で披露されていた踊りが起源のようです。さらにこの踊りがフランスの宮廷文化が栄えるのと共に、フランスで盛んになりました。ヨーロッパ中で人気を博すものとなったバレエですが、時代と共に衰退していまい、その後ロシアに渡り、目覚ましい発展を遂げていくのです。「イタリアで生まれ、フランスで育ち、ロシアで発展した」とよく言われているようです。

チャイコフスキーの三大バレエと言われる「白鳥の湖」「眠りの森の美女」「くるみ割り人形」はとて有名で、耳にすることも多いと思われませんが、バレエ音楽は歌や台詞がないこともあり、音楽を聴くだけでも様々な情景が目に見え、表情豊かな音楽が多く、バレエのみならず、様々な場面でもその音楽は使用されています。テレビのBGMやCMなどでも聴き覚えのあるものもたくさんあり、曲名は覚えていないけれど、みんなが知っている音楽もたくさんあるバレエ音楽です。

今回おすすめするCDは『マイ・ファースト・バレエ・アルバム』。様々なバレエの物語を詰め込んだ、バレエ

音楽を最初に聴くのに是非おすすめの一枚です。チャイコフスキーの三大バレエはもちろん、ストラヴィンスキーの「火の鳥」やドリーブの「 Coppélia」、プロコフィエフの「ロメオとジュリエット」なども入っており、様々なバレエを一挙に楽しめ、大人の方にはもちろん、子供たちにもおすすめできるアルバムです。

習い事としても人気のあるバレエですが、まだまだ実際に生のバレエを見たことがない子供たちにも、8月には「ドン・キホーテ」の公演がやってきます。「ドン・キホーテ」のストーリーはスペインを舞台に繰り広げられる、陽気で楽しい恋のお話です。見どころも満載で、特に第3幕の結婚式の場面でのキトリとバジルの華やかな踊りは、大変盛り上がる見せ場です。

ミンクス作曲の「ドン・キホーテ」は、チャイコフスキーのように有名ではないため、なかなか全曲盤のCDにお目にかかることは珍しいものです。ナクソスより発売されている「ミンクス/バレエ音楽『ドン・キホーテ』」はリーズナブルな価格でオリジナルのプロローグと全3幕が聴ける全曲盤となっています。音楽だけでもワクワク、ドキドキが伝わる、バレエ・ファン、管弦楽ファンにとっては嬉しい一枚です。

[2F 楽譜・CD売場] 長尾 真奈美

マンダリンエレクトロニクス 竹内 正実さん

電子楽器の分野では鍵盤楽器をはじめ、打楽器などでも開発が進んでいますが、世界で初めて作られた電子楽器はロシアで発明された「テルミン」。今回はそのテルミンの魅力にひきつけられ、普及と発展に尽力されている竹内正実さんにお話を伺いました。



テルミンとの出会い

大学卒業後、関西の文化施設で音響を担当していました。そのときの経験が現在の録音やミキシング技術のベースになっています。ある日、テルミンの伝説的な演奏家クララ・ロックモアさんの録音を聞くことができました。それを聞いた時は、目からうろこが落ちる感じで、無性にその楽器に魅入られてしまったんです。調べてみると、発明者であるテルミン博士やその楽器について詳しいことがわかっていません。それなら私がテルミンを習って演奏者になり、知られていないテルミン博士や楽器のことを広く紹介しようと思いました。それから2年間留学の準備をし、1993年に渡露。当時は演奏法習得不可能とすら言われていたテルミン。うまくいくはずがないと周囲は反対したけれど、それは前例がないから。うまくやれば成功する可能性はありと自分に言い聞かせていました。



マトリョミンの誕生

私の活動の使命は、自分自身が美しい音色を奏でたいというのがありますが、それよりもテルミンのカルチャーとしての面白さを伝え、広めたいということが第一。それでマトリョーシカの中にテルミンを入れてみようというひらめいたんです。私は大学のころに音楽工学を専攻していましたが、マトリョーシカの原料である菩提樹の木は、音響学的にすごくいい楽器の共鳴体になると直感的に分りました。とはいえ、簡単に演奏できるものを作る気はありませんでした。テルミンの面白さはその演奏法。音律や音階をイメージと動作によって作っていきます。その難しさはそのまま、テルミンへのやさしい入り口となるような楽器を作りたい。



マトリョミンの中身。可愛らしい見た目と裏腹に精密機械です。

でもこの小さなフォルムの中で幅広い音域を表現するというのがすごく難しい作業でした。ちょっとした発見でそれは解決しましたが、初めての



テルミンの発明者
テルミン博士

試作品を作ってから楽器を量産するようになるまでは4年かかりました。マトリョーシカはロシア製のものの特注して輸入しています。コストはかかりますが、これも私なりのロシアへの恩返しです。

テルミンの未来のために

まずはこの楽器の存在を知らない人も多いので、私たちの活動を通して知ってほしいですね。「これこそ僕が求めていたものだ」というような人が世界のどこかに必ずいると信じています。そのために私がやっていることの3本柱は変わりません。私自身がこの楽器で美しい音色を求めていくこと、いいプレイヤーを育て



テルミンの演奏では、右手でピッチ（音程）、左手でフレーズ（音量や旋律）を調節します。演奏が上手な人ほど左手の動きが美しいそう。

ること、そして楽器作りですね。いいプレイヤーがいて、いい楽器があること。これはセットです。電子楽器も新しい音楽を作れる可能性がある。ただそれは新しい楽器の創造がないと難しいかもしれません。私には残りの人生だけでは完結できないくらいやることはいっぱいあります。それを誰かにパトロンタッチをして、それを受け継いだ者がそのあとをやっていく。希望や喜びがあると書いています。

私の師匠

本田技研工業株式会社創業者
ほんだ そういちろう
本田 宗一郎氏
(1906-1991)

「挑戦」、「道を切り開く」という精神性を持つ先駆者。実際に会ったことはありませんが、その生き方に憧れます。



竹内 正実 たけうち まさみ

昭和42年生まれ、豊川市出身、浜松市在住。大阪芸術大学音楽学科音楽工学専攻卒業。音響関係の仕事を経て、平成5年にロシアへ渡る。テルミン演奏法をリディア・カヴィナに師事。帰国後、著名ミュージシャンとの共演やテルミン演奏教室の主宰を務め、平成15年にマトリョミンの量産を開始。浜松を拠点に西へ東へとテルミン普及に奔走する日々。

マンダリンエレクトロニクス

浜松市西区村櫛町4598-9
浜名湖国際頭脳センター・南棟2F 10号室
TEL.053-488-1920
HP <http://www.mandarinelectron.com/>

10年ぶり、映像音響機器の増設

浜松市楽器博物館館長 嶋 和彦

1995年4月に開館した浜松市楽器博物館は、昨年開館20周年を迎えた。19世紀のピアノや、大阪四天王寺に伝承する国の重要無形民俗文化財「聖霊会舞楽大法要」、正倉院に伝わる世界最古の琵琶譜の復元演奏、昭和はじめに男爵大倉喜七郎が考案した和洋折衷管楽器オークラウロ、浜松の楽器産業と日本の西洋音楽教育の原点である足踏み式リードオルガン、フィンランドの伝統弦楽器カンテレ、ウィーン式の吹奏楽など、楽器博物館ならではの古今東西多種多様なテーマで、展覧会やコンサート、講座などを開催した。お陰さまで、昨年度の入館者数は歴代3位の96,236人。ユネスコ音楽部門の創造都市浜松を代表する文化教育施設として、地道ながらも質の高い活動を続けている。

さて、博物館は2006年の大幅な展示リニューアル以来、展示や設備の改修はなかったが、昨年

度末、10年ぶりに音響映像機器の増設が実現した。今まではヘッドフォンやテレビ、イヤホンガイドでの音と映像の提供であったが、新たに110インチ大型液晶モニタと超指向性スピーカー、それに小型液晶モニタが仲間入りした。

近年、多くの博物館や美術館で、大型スクリーンに映像を映し、映画館さながらのサラウンド音響システムを駆使した迫力ある映像展示がなされている。楽器博物館は、展示品である楽器がそもそも音を出し、人間が演奏するものであるから、その姿を紹介するには映像や音響は必要欠くべからざるものである。浜松市楽器博物館もいつかこのような映像展示ができればと考えていたが、経費もさることながら、展示室が大型スクリーンを設置できるような構造にはなっておらず、簡単には実現できなかった。しかし、この数年で液晶モニタの性能が格段に向上し、明るい場所でも色鮮



リニューアル完成式典



地下天空ホール



玄関ホール

やかな、しかも大型の高精細画像が楽しめるようになった。そこで今回設置したのは、55インチモニタ4台を連結した110インチの画面である。

1階玄関ホールと地下1階天空ホールフロアに設置し、今のところ玄関ホールでは音楽の都・ユネスコ創造都市である浜松を紹介する番組、天空ホールでは、楽器博物館海外調査からパプアニューギニアの音楽シーンを紹介する番組を放映している。

ヘッドフォン装置も20年使用してきたため劣化も見られることから、スピーカーで常に音を発信する装置を追加した。これなら操作が不要である。技術の進歩により超指向性スピーカーが登場し実用化されているため、それを採用したのである。展示台上部に設置された超指向性スピーカー

の下に立つと、音が頭上から降り注ぐ。大音量ではないが、自然に音が耳に入ってくるため、この音はなんだろう、と感じてもらえる。また、スピーカー設置の展示台のいくつかには小型モニタも設置し、映像も楽しめるようにした。

これらの装置が完成したのはつい先月、3月末のこと。発信する音や映像プログラムはまだ整って



小型モニタ

を使っている。今後は新プログラムを制作し、皆様に楽しんでいただく予定である。



超指向性スピーカーと小型モニタ

浜松市楽器博物館

開館時間 9:30-17:00
休館日 毎月第2.4水曜日(祝日の場合は翌日、8月は無休)
12/29-1/3、施設点検等の日
観覧料 大人800円 高校生400円
中学生以下・70歳以上・障害者無料
TEL.053-451-1128 HP <http://www.gakkihaku.jp>



Okura
ACT CITY HOTEL
HAMAMATSU

オークラアクトシティホテル浜松
Okura Act City Hotel Hamamatsu



ホテルクラウンパレス浜松
Hotel Crown Palais Hamamatsu



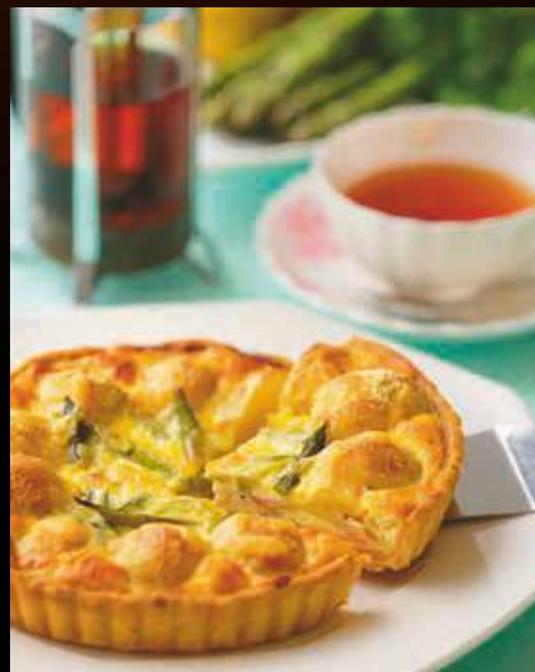
海の幸入り冷しそば お一人様 2,800円(税金・サービス料含む)

夏季限定で登場する、中国料理 桃花林の「冷しそば」。
クロレラを練りこんだ翡翠麺を使い、こだわりのスープで仕上げています。食欲が落ちやすい暑い夏にも、さっぱりといただける一品です。
桃花林の冷しそばの中でも、一段と目を引くのが「海の幸入り冷しそば」。ズワイ蟹、クラゲ、タコ、ベビーホタテ、イカ、天使海老、アワビなど7種類の海鮮がのった贅沢な冷しそばです。醤油風味のスープは、海鮮はもちろん、湯むきトマト、海藻サラダ、錦糸玉子といったほかの具材とも相性の良い米酢を使い、まろやかでコクのある味に仕上げています。(スープは、醤油風味・胡麻風味よりお好みでお選びいただけます。)暑い夏が始まるこの季節、桃花林の「海の幸入り冷しそば」をぜひご賞味ください。その他にも、「五目入り冷しそば」2,000円、「棒々鶏のせ冷しそば」1,800円、「冷し担々麺」1,800円もご用意しております。



中国料理「桃花林」

浜松市中区板屋町111-2 オークラアクトシティホテル浜松2階
ご予約・お問い合わせ(9:00~20:00) レストラン予約受付 TEL.053-458-1233
【営業時間】ランチ11:30~14:00(土日祝~14:30) ディナー17:30~21:00



キッシュセットお1人様1,100円(税込)
コーヒーもしくは紅茶付き

JR浜松駅前、ホテルクラウンパレス浜松の1階ロビーラウンジ ラボに新しいセットメニューが加わりました。

キッシュセット1,100円(写真)とパンセット900円いずれもコーヒーまたは紅茶付きのメニューとなっております。

数量が限定された人気メニューの為無くなり次第終了となりますのでご来店の際にはお問合せをお勧め致します。爽やかな陽光差し込む明るく開放的なロビーラウンジで美味しくリラックスしたひとときを過ごしてみたいかでしょうか？是非一度皆様お誘いあわせの上ご来館を…。

キッシュセットお1人様1,100円(税込) パンセットお1人様900円(税込)
※数量限定、お問合せはホテルクラウンパレス浜松「ロビーラウンジ ラボ」1階
電話 053(452) 5111



ホテルクラウンパレス浜松1階
ロビーラウンジ ラボ

ロビーラウンジ ラボ

浜松市中区板屋町110-17 ホテルクラウンパレス浜松1階 TEL.053-452-5111
【営業時間】月~金 10:00~19:00(ラストオーダー 18:30)
土日祝 9:30~19:00(ラストオーダー 18:30)

2016.6 ▶ 2016.12

HCFオンラインショップ

http://www.hcf.or.jp/

HCFオンラインショップをぜひご利用ください。
様々な公演のチケットが、24時間オンラインで購入できます。

- ★システム利用料0円・発券手数料0円
- ★送料などの実費はかかりませんが、その他の手数料は一切なし。
- ★クレジット決済 / 送料315円(全国一律)
- ★代金引換 / 送料315円(全国一律)+代引手数料315円(一律)
- ★直接アクトシティチケットセンター窓口にての購入(現金のみ)もできます。詳しくはHPをご覧ください。http://hcf.or.jp/

アクトシティ浜松ワンコインコンサート
安藤赴美子ソプラノ・リサイタル

6.9(木) 11:30(12:30終演予定)

- アクトシティ浜松 中ホール
- 全席自由:500円
- ※チケットレス(当日会場入口にて入場料をお支払いください。)
- ※満席となった際は、入場をご遠慮いただく場合がございますので予めご了承ください。
- ※未就学児の入場不可
- 曲目:プッチーニ / 「ラ・ボエーム」より“私の名はミミ”
「蝶々夫人」より“ある晴れた日に”
山田耕筰 / この道 ほか
- 文化事業課 TEL.053-451-1114



©Shingo Azumaya

第5回子どもミュージカル
鈴の音～時を越えて～

6.26(日) 14:30

- アクトシティ浜松 大ホール
- 指定席:2,000円
- 自由席:一般 1,000円 高校生以下 500円
- ※4歳以下の入場不可
- 音楽監督・作曲:村松崇継
- 演出:金谷かほり
- 脚本:藤倉梓
- 文化事業課 TEL.053-451-1151

ローマ・イタリア歌劇団
G. プッチーニ『ラ・ボエーム』

全4幕・原語上演・日本語字幕

6.29(水) 18:30

- アクトシティ浜松 大ホール
- 全席指定:
SS席 14,000円 S席 12,000円
A席 9,000円 B席 7,000円
シニア席 5,000円(当日指定・70歳以上)
学生席 1,500円(当日指定・24歳以下)

※未就学児の入場不可

- 指揮:カルロ・パッレスキ
- 演出:ジョルジオ・ボンジョ・バンニ
- 出演:ローマ・イタリア歌劇団管弦楽団・合唱団
- 児童合唱:ジュニアクワイア浜松
- 文化事業課 TEL.053-451-1114



カルロ・パッレスキ



ジョルジオ・ボンジョ・バンニ



オルガンミニコンサートNo.78

6.30(木) 12:30(12:50終演予定)

- アクトシティ浜松 中ホール
- 入場無料 ※小さなお子様も入場できます
- オルガン:小野なおみ
- 文化事業課 TEL.053-451-1151

ACT New Artist Series
アクト・ニューアーティスト・シリーズNo.104
「荒木奏美 オーボエ・リサイタル」

7.10(日) 15:00

- アクトシティ浜松 音楽工房ホール
- 全席自由:
[1回券]一般 2,500円 学生(24歳以下) 1,000円
[年間パスポート]一般 7,500円 学生(24歳以下) 3,000円
- ※未就学児の入場不可
- 曲目:ブーランク / オーボエとピアノのためのソナタ ほか
- 文化事業課 TEL.053-451-1114



松竹大歌舞伎

7.17(日) 昼の部13:00/夜の部17:30

- アクトシティ浜松 大ホール
- 全席指定:
一等席 6,500円
二等席 5,500円
夜の部幕見席 2,000円(当日指定)
学生席 1,500円(当日指定・24歳以下)
- ※未就学児の入場不可

- 出演:
市川染五郎
市川高麗蔵
中村歌昇
中村吉太郎
嵐橋三郎
- 演目:
『ご挨拶』
『晒三番叟』
『秀山十種の内 松浦の太鼓』
『粟餅』
- 文化事業課 TEL.053-451-1114



©松竹

レクチャーコンサート

「諸行無常の響き 声明と平家琵琶～語りみる仏教哲学～」

7.20(水) 19:00

- 楽器博物館 天空ホール
- 全席自由:
一般 2,000円
学生(24歳以下) 1,000円
- ※未就学児の入場不可
- 出演:菊中央雄司、田中奈央一、日吉章吾(平家語り)
海老原廣伸(声明)、近藤静乃(解説)、薦田治子(司会)

- 浜松市楽器博物館 TEL.053-451-1128



第11回はましんファミリーコンサート

7.24(日) 14:00

- アクトシティ浜松 中ホール
- 全席自由:一般 2,000円 高校生以下 500円
- ※未就学児の入場不可
- 指揮:海老原光

- ピアノ:アレクサンデル・ガジェヴ (第9回浜松国際ピアノコンクール優勝者)
- 管弦楽:浜松交響楽団
- ソプラノ:澤江衣里
- 合唱:浜松少年少女合唱団
- 曲目:ブラームス/ピアノ協奏曲 第1番 二短調 作品15
エロール/「ザンパ」序曲
懐かしい日本の歌(うみ、夕焼け小焼け、落葉松 ほか)
オフエンバック/「天国と地獄」序曲
- 文化事業課 TEL.053-451-1114



浜松交響楽団



アレクサンデル・ガジェヴ

特別企画 こどものためのワンコインコンサート
遠藤真理チェロ・リサイタル

7.28(木) 11:30(12:30終演予定)

- アクトシティ浜松 中ホール
- 全席自由:500円
- ※チケットレス (当日会場入口にて入場料をお支払いください。)
- ※満席となった際は、入場をご遠慮いただく場合がございますので予めご了承ください。
- ※未就学児も入場できます(3歳以上)。
- 曲目:サン=サーンス/白鳥
ヴィラ=ロボス/黒鳥の歌 ほか
- 文化事業課 TEL.053-451-1114



©中山かつみ

東京バレエ団

子どものためのバレエ『ドン・キホーテの夢』

8.1(月) 15:00

- アクトシティ浜松 大ホール
- 全席指定:
S席大人 4,000円 S席子ども 1,500円
A席大人 3,000円 A席子ども 1,000円
- ※子ども料金は4歳から中学生が対象
※4歳未満のお子さまは入場不可
- 出演:東京バレエ団
- 演出・振付:ウラジーミル・ワシリーエフ
- 音楽:レオン・ミンクス ほか
- 文化事業課 TEL.053-451-1114



©Kiyonori Hasegawa



©Kiyonori Hasegawa

第22回浜松国際管楽器
アカデミー&フェスティバル

■オープニングコンサート

8.1(月) 18:30

- アクトシティ浜松 中ホール
- 全席自由:
一般 3,500円
高校生以下 1,500円
- ※未就学児の入場不可
- 出演:
アカデミー講師
マチュー・デュフォー(フルート)
デイヴィッド・ビルジャー(トランペット)
須川展也(サクソ) ほか



■トランペットナイト

8.3(水) 19:00

- アクトシティ浜松 音楽工房ホール
- 全席自由:2,000円
- ※未就学児の入場不可
- 出演:
デイヴィッド・ビルジャー
イェルン・ベルワルツ



デイヴィッド・ビルジャー



イェルン・ベルワルツ

■フルートナイト

8.4(木) 19:00

- ヤマハミュージックリテイリング浜松店・かじまちヤマハホール
- 全席自由:2,000円
- ※未就学児の入場不可
- 出演:
マチュー・デュフォー
工藤重典



マチュー・デュフォー

工藤重典

■受講生選抜プレミアムコンサート

8.5(金) 18:00

- アクトシティ浜松
音楽工房ホール
- 入場無料(要整理券)
- ※未就学児の入場不可



- 浜松市アクトシティ音楽院 TEL.053-451-1150



イヴニングサロンコンサート

「名器リンドホルム・クラヴィコードの魅惑」

8.6(土) 18:30

- 楽器博物館 天空ホール
- 全席自由:
一般 2,000円
学生(24歳以下) 1,000円
- ※未就学児の入場不可
- 出演:宮本とも子
(フェリス学院大学教授)
- 浜松市楽器博物館
TEL.053-451-1128



レクチャーコンサート

「音楽と革命・それはテルミンから始まった
~20世紀と電子楽器の幕開け~」

8.7(日) 19:00

- 楽器博物館 天空ホール
- 全席自由:一般 3,000円 学生(24歳以下) 1,000円
- ※未就学児の入場不可
- 出演:ピョートル・テルミン
ナターリア・テルミン
竹内正実
- 浜松市楽器博物館
TEL.053-451-1128

500 ACT アクト・ニューアーティスト・シリーズNo.105
アクロス弦楽合奏団

8.23(火) 11:30(12:45終演予定)

- アクトシティ浜松 中ホール
- 全席自由:500円
- ※チケットレス(当日会場入口にて入場料をお支払いください。)
- ※満席となった際は、入場をご遠慮いただく場合がございます。
- ※未就学児の入場不可
- 曲目:
ヘンデル/合奏協奏曲集 作品6 第5番 二長調 HWV.323
クーブラン/演奏会用小品集[編曲:ポール・バズレル]
チャイコフスキー/弦楽合奏の
ためのセレナーデ 八長調 作品48
- 文化事業課
TEL.053-451-1114



©椎原一久

ジュニアオーケストラ浜松
第22回定期演奏会

9.4(日) 13:30

- アクトシティ浜松 中ホール
- 全席自由:500円
- ※4歳未満入場不可
- 常任指揮者:現田茂夫
- チェロ:横坂源
- 曲目:
チェロ協奏曲 小短調
作品85/エルガー
交響曲第7番「未完成」口短調 D759/シューベルト 他
- 文化事業課 TEL.053-451-1151

ジュニアクワイア浜松
第22回定期演奏会

9.11(日) 13:30

- アクトシティ浜松 中ホール
- 全席自由:500円
- ※4歳未満入場不可
- 音楽監督:浅野武
- 曲目:
女声合唱とピアノのための
「シング・ソング童謡集」/
信長貴富
Nidaros Jazz Mass/ポプ・チルコット 他
- 文化事業課 TEL.053-451-1151



ACT New Artist Series 「水野優也 チェロ・リサイタル」

9.18(日) 15:00

- アクトシティ浜松 音楽工房ホール
- 全席自由:
[1日券]一般 2,500円 学生(24歳以下) 1,000円
[年間パスポート]一般 7,500円 学生(24歳以下) 3,000円
- ※未就学児の入場不可
- 曲目:
ドビュッシー/チェロ・ソナタ短調
ベートーヴェン/チェロ・ソナタ
第4番 八長調 Op.102-1 ほか
- 文化事業課 TEL.053-451-1114



歌劇ブラック・ジャック2016

9.18(日) 19:00

- アクトシティ浜松 中ホール
- 全席自由:2,000円
学生(24歳以下) 1,000円
- ※未就学児の入場不可
- 文化事業課
TEL.053-451-1151



レクチャーコンサート

「スウェーデン伝統音楽の現在~伝統と革新と~」

10.5(水) 19:00

- 楽器博物館 天空ホール
- 全席自由:一般 3,000円
学生(24歳以下) 1,000円
- ※未就学児の入場不可
- 出演:
ヨナス&ヨセフィーナ
ヨナス・オーケルンド(フィドル、スウェディッシュ・バグパイプほか)
ヨセフィーナ・パウルソン(ニッケルハルパ)
- 浜松市楽器博物館 TEL.053-451-1128



レクチャーコンサート

「ひとつの音に世界を聴く~一絃琴と尺八による和洋の出逢い~」

10.12(水) 19:00

- 都合により開催日が9月12日(月)から10月12日(水)に変更となりました。
- 楽器博物館 天空ホール
- 全席自由:一般 3,000円
学生(24歳以下) 1,000円
- ※未就学児の入場不可
- 出演:峯岸一水(清虚洞一絃琴)
エリザベス・ブラウン(尺八)
ラルフ・サミュエルソン(尺八)
- 浜松市楽器博物館
TEL.053-451-1128



辻井伸行&ヨーロッパ室内管弦楽団
“極上のモーツァルト”

10.31(月) 19:00

- アクトシティ浜松 大ホール
- 全席指定: S席 14,000円 A席 12,000円 B席 9,000円
学生席 1,500円(当日指定・24歳以下)
- ※未就学児の入場不可
- ピアノ: 辻井伸行 ●管弦楽: ヨーロッパ室内管弦楽団
- 曲目: 〈オール・モーツァルト・プログラム〉
歌劇「ドン・ジョヴァンニ」序曲
ピアノ協奏曲第21番(ピアノ: 辻井伸行)
ディヴェルティメントK.136
交響曲第40番
- 文化事業課 TEL.053-451-1114 



ヨーロッパ室内管弦楽団 ©Priska Ketterer 辻井伸行

©Yuji Hori

京都市交響楽団オーケストラ
ディスクバリー2016

～こどものためのオーケストラ入門～

11.12(土) 15:00

- アクトシティ浜松 大ホール
- 全席指定: S席大人 3,000円 S席子ども 2,000円
A席大人 2,500円 A席子ども 1,500円
- ※子ども料金は5歳から高校生までが対象
- ※5歳未満のお子さまは入場不可
- 出演:
広上淳一(指揮)、三浦文彰(ヴァイオリン)
ロザン(ナビゲーター)、京都市交響楽団
- 曲目:
J. シュトラウス2世: ワルツ「美しく青きドナウ」
サラサーテ: ツィゴイネルワイゼン
ムソルグスキー(ラヴェル編曲):
組曲「展覧会の絵」より「キエフの大きな門」
ほか
- 文化事業課 TEL.053-451-1114 



広上淳一

三浦文彰
©Yuji Hori

京都市交響楽団



ロザン

500 ACT New Artist Series アクトシティ浜松ワンコインコンサート
片岡雄三セクステット(ジャズ)

11.17(木) 11:30(12:30終演予定)

- アクトシティ浜松 中ホール
- 全席自由: 500円
- ※チケットレス(当日会場入口にて入場料をお支払いください。)
- ※満席となった際は、入場をご遠慮いただく場合がございます。
- ※未就学児の入場不可
- 出演:
片岡雄三(トロンボーン)、稲垣貴庸(ドラム)
大山日出男(アルトサクソ)、佐久間勲(トランペット)、佐瀬正(ベース)、西直樹(ピアノ)
- 曲目: A列車で行こう
りんごの木の下で ほか
- 文化事業課 TEL.053-451-1114



片岡雄三

第9回浜松国際ピアノコンクール第1位
アレクサンデル・ガジェヴ ピアノ・リサイタル

11.25(金) 19:00

- アクトシティ浜松 中ホール
- 全席自由: 一般 2,500円 学生(24歳以下) 500円
- ※未就学児の入場不可
- 文化事業課 TEL.053-451-1114 

ACT New Artist Series アクト・ニューアーティスト・シリーズNo.106
「毛利文香 ヴァイオリン・リサイタル」

12.18(日) 15:00

- アクトシティ浜松 音楽工房ホール
- 全席自由: 一般 2,500円 学生(24歳以下) 1,000円
[年間パスポート] 一般 7,500円 学生(24歳以下) 3,000円
- ※未就学児の入場不可
- 曲目:
ベートーヴェン/
ヴァイオリン・ソナタ第9番 長調
Op.47「クロイツェル」 ほか
- 文化事業課
TEL.053-451-1114 



文化活動へのご寄附のお願い

～大切なお気持ちを確かなカタチにしてお届けします～

《寄附プログラムのご紹介》

公益財団法人浜松市文化振興財団では、文化芸術活動の普及・推進を支援いただける方のご寄附を募っております。お預かりした寄附金は、若年層の芸術鑑賞体験機会の創出や、学校・医療施設等への演奏家派遣など文化普及活動に活用させていただきます。

文化と暮らす豊かな生活ができる都市へ、皆様のご理解・ご協力・ご支援をお願いします。



一般寄附

活用方法を特定せず文化事業全般を支援するご寄附

ご寄附は、当財団の文化事業全般で活用させていただきます。また、浜松市楽器博物館や浜松文芸館など財団が管理運営する施設を指定しての寄附もお受けすることができます。ご寄附額はおいくらからでもお受けさせていただきます。(目安として2,000円から)

使途特定寄附

活用方法を特定いただくご寄附

♪「あしながチケット」プログラム

市内学校・団体等へ当財団主催の公演鑑賞チケットをプレゼントします。(10席程度から) 寄附者の方に公演を指定いただくことも可能です。寄附金はチケット購入費用に充てさせていただきます。

♪「音楽のプレゼント」プログラム

寄附者ご指定の場所、または当財団が希望を募った学校・病院・介護施設などに演奏家を派遣しミニコンサートを開催します。寄附金は演奏家への謝礼に充てさせていただきます。

上記のほか、特定の公演やイベントを支援するご寄附も受け付けております。

◆ ご寄附に関するお問合せは ◆

公益財団法人浜松市文化振興財団 経営企画課

☎053-451-1113 FAX053-451-1123

[受付時間] 月曜～金曜(平日) 9:00～17:00(年末年始及び休館日は除く)

寄附プログラムご案内ページ >>

HCF寄附

🔍 検索

本制度は寄附金控除(税制上の優遇措置)の対象です。詳しくは上記にお問合せください。

舞台袖

歌舞伎役者・市川染五郎さんの取材で歌舞伎座のお稽古場にお邪魔した時のこと。私たちの前には東海地区の雑誌関係の方がプロのカメラマンを連れて6・7名で取材中でした。当方は2名の若輩者。順番が来て、緊張で声を震わせながらの拙い質問にも、丁寧に答えてくださる染五郎さんでした。5月のラスベガス公演も成功され、ますます目が離せない役者さんです。

チケット販売場所

 アクトシティチケットセンター  HCFオンラインショップ <http://www.hcf.or.jp/>  チケットぴあ
この情報は2016年5月20日現在のものです。都合により日時、金額など変更になる場合もございますのであらかじめご了承ください。



アクトシティ浜松(施設のご予約)

〒430-7790 浜松市中区板屋町111-1
TEL.053-451-1111 FAX.053-451-1123

アクトシティ浜松(事業のご案内)

〒430-7790 浜松市中区板屋町111-1
TEL.053-451-1114 FAX.053-451-1123

浜松市アクトシティ音楽院

〒430-7790 浜松市中区板屋町111-1
TEL.053-451-1150 FAX.053-451-1123



クリエート浜松

〒430-0916
浜松市中区早馬町2-1
TEL.053-453-5311
FAX.053-453-5379



浜松市楽器博物館

〒430-7790
浜松市中区中央3-9-1
TEL.053-451-1128
FAX.053-451-1129



浜松科学館

〒430-0923
浜松市中区北寺島町256-3
TEL.053-454-0178
FAX.053-454-0184



浜松市旧浜松銀行協会 (木下恵介記念館)

〒432-8025
浜松市中区栄町3-1
TEL.053-457-3450
FAX.053-457-3450



浜松こども館

〒430-0933
浜松市中区鍛冶町100-1
TEL.053-450-9111
FAX.053-458-0300



浜松市浜北文化センター

〒434-0038
浜松市浜北区貴布祢291-1
TEL.053-586-5151
FAX.053-586-5153